

東邦大学学術リポジトリ

Toho University Academic Repository

タイトル	Submitしてみよう
別タイトル	Let's Submit
作成者（著者）	岩崎, 泰雄
公開者	東邦大学医学会
発行日	2018.06.01
ISSN	00408670
掲載情報	東邦医学会雑誌. 65(2). p.87 87.
資料種別	学術雑誌論文
内容記述	巻頭言
著者版フラグ	publisher
JaLDOI	info:doi/10.14994/tohoigaku.2018_023
メタデータのURL	https://mylibrary.toho-u.ac.jp/webopac/TD13249825

Submit してみよう

岩崎 泰雄

東邦大学医療センター大森病院神経内科教授

Submit してみよう。今は亡き、上司であられた、当時のボスであられた大橋病院第四内科の故木下教授より、いつも、論文書いたか、書いたかと、言われていた事を思い出します。留学していた時も、その時のボスもとにかく、基礎の事を生かして、うまく、臨床に生かし、仮説を立てて実験しろと、連日のごとく、言われていた事も、思い出します。いずれにしろ、この2人の上司に巡り会えたため、現在の自分がある事を常々、思い感謝しております。何と、ラッキーであった、事をご紹介させていただきます。小生は筋萎縮性側索硬化症（ALS）という、神経難病中の最たるものに関して、研究をさせていただいていますが、このALSに関して遺伝子異常（これは、SOD に関しての遺伝子でした）が初めて発表されたのが、1993年であり、

小生は、脳せき髄異常かと思いました。当時、ALS患者さんすべての、髄液は保存していたため、その髄液のSODに関して測定し、どうせだめだから、有名な雑誌から、投稿してみようと思い、Lancetに投稿したところ、わずか、1週間でacceptの通知が来ました。後で、考えれば、まったく、ずれた事を投稿したのにと思いました。この事より、研究に関しては、新しい事をやれば、acceptにつながると、つくづく、思いました。

この事を常にここにおき、継続して、研究を行っております。

もう一度、ラッキーな事を待っております。

DOI: 10.14994/tohoigaku.2018-023